

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	支援者と大学の協働による誰も取り残さない生活困窮者支援のためのパンフレット作成事業
2 事業実施期間	令和4年7月 ～ 令和5年2月
3 事業実施内容 *具体的に記入してください。	(実施日、場所、対象者、参加人数、内容、周知方法など) ①実施場所 那覇市内 ②対象者 生活困窮者支援団体 ③内容 相談機関や食の支援団体等へ調査、インタビューを実施した。食の支援団体については特徴や課題等を把握した上で、パンフレットを作成した。調査にあたっては代表者が所属する琉球大学社会福祉士養成コースの学生にも呼びかけ実施した。 作成したパンフレットは、調査協力機関、行政や委託された生活困窮者相談窓口、那覇市社会福祉協議会、その他支援機関へ配布した。作成したデータはオープンデータ化した。✓
4 事業実施における数値目標 (中間報告書で示した数値)	生活困窮者支援団体のとりまとめを行い見やすいパンフレットを作る
5 上記4の数値目標の達成度	(例：90パーセント達成(理由：○○)) 100%達成 生活困窮者支援団体のとりまとめを行い見やすいパンフレットを作り、関係機関に配布した。

6 事業の成果	<p>(対象や地域、社会にどう貢献したかなど)</p> <p>生活困窮者に関する相談機関や食の支援団体が掲載されたパンフレットは存在するが、冊子が別々になっていることからそれぞれ把握することが難しいことが考えられた。今回、生活困窮者に関する相談機関と食の支援団体等を横断的にパンフレットに掲載することが出来たことから、生活困窮者支援と食の支援が一体的にできると考えられる。</p>
7 評価	<p>① 良かった点、工夫したこと</p> <p>1点目には横断的なパンフレットを作成した点。2点目には食の支援機関等へのシートについては、ボランティアの募集や機関からのメッセージなどの情報を盛り込んだ点、3点目には実際のことを知ってもらうために学生とともに取り組んだ点。</p> <p>② 苦勞したこと、改善点、今後に活かしたいこと</p> <p>インタビューの実施に時間がかかったことや日程がなかなか合わずに訪問が出来ない団体などもあり、もっと時間をかけて取り組むことができれば、もう少し掲載団体を増やすことが出来たのではと思われる。</p>
8 今後の展開 (継続、内容変更、終了など)	<p>本会としてはパンフレット作成したので終了とするが、オープンデータとして提供する予定で、パンフレット追加団体等があれば追加することができることから、継続することで掲載団体を増やし、生活困窮者支援に役立ててほしい。</p>
9 その他の意見、感想など	<p>現状を伺えたこと。</p> <p>また、協働して取り組みたいなどの意見もあり、私たちとしても手伝えるところは協力して取り組んでいきたい。</p>
<p>10 事業実施に関して協力(連携)した行政機関・他団体の有無。該当する箇所に☑等を記入してください。)、協力の内容について記入してください。</p> <p>行政の協力 (■企画立案に協力 □資金提供 □告知などの協力 □その他 ())</p> <p>他団体の協力 (■企画立案に協力 □資金提供 □告知などの協力 □その他 ())</p> <p>□ 無し</p> <p>行政や他団体への今後の連携についての期待・要望など</p> <p>(パンフレットをぜひご活用頂きたい。)</p>	